



賃上げ満額獲得！労働条件改善！ 2021 JR総連春闘を職場から闘うぞ！ 第34回定期中央委員会開催

JR東海労は2月11日、必要最低限の参加者に絞るなどのコロナ感染対策を実施した上で第34回定期中央委員会を開催し、2021 JR総連春闘を中心とする闘う方針を確立しました。今春闘におけるJR東海労の賃上げ要求である、定期昇給6,000円（基準昇給額1,500円×4乗数）及びベア6,000円、夏季手当3.5ヶ月を満場一致で決定しました。

木下委員長は、挨拶で「コロナ禍を口実とした賃金抑制を許さず、雇用不安を煽るJR東海ユニオン指導部の犯罪性を暴露し、職場から闘おう」と訴えました。

中央委員からは、昨年末手当の大幅削減をはじめとする社員への犠牲を許さず、労働組合として当たり前運動を展開する趣旨の発言が相次ぎました。

本橋書記長、総括答弁で「この春の闘いを通じて、組織強化・拡大を勝ち取ろう」と訴えました。

